

# オランダ

## Kingdom of the Netherlands

	2013年	2014年	2015年
①人口：1,690万人（2015年）			
②面積：4万1,543km <sup>2</sup> （2015年）			
③1人あたりGDP：4万3,603米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	△0.5	1.0	2.0
⑤消費者物価上昇率（%）	2.5	1.0	0.6
⑥失業率（%）	7.3	7.4	6.9
⑦貿易収支（100万ユーロ）	76,969	79,269	78,331
⑧経常収支（100万ユーロ）	65,784	62,668	61,907
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	22,591	19,307	17,341
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	3,350,625	3,533,139	3,676,991
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.7532	0.7537	0.9017

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）〔出所〕①②④～⑥：オランダ中央統計局（CBS）、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑪：オランダ国立銀行（DNB）

住宅投資などの堅調な内需により、オランダの2015年の実質GDP成長率は顕著な伸びを示した。失業率も0.5ポイント改善され、6.9%となった。輸出入はともに前年から減少した。とりわけEU28向けの輸出が低調だった。直接投資では対内、対外とも堅調であったものの、EU28向けでは引き揚げ超過となった。対外では小売りや資源開発等の分野で大型案件がみられた。対日貿易は、輸出が伸びをみせた一方、輸入はほぼ前年並みとなった。

### ■内需主導により順調な経済成長

2015年のオランダの実質GDP成長率は2.0%と2014年の1.0%を上回る伸びをみせた。産業別にみると農林水産業、鉱工業（建設を除く）はそれぞれ、前年比1.3%減、1.2%減であったが、建設が8.0%増、サービス業は2.9%増と好調であった。サービス業ではビジネス・サービス、情報通信などが高い伸びをみせた。

需要項目別では、国内総固定資本形成が前年比10.3%増と高い伸びをみせるとともに、民間最終消費支出も1.5%増と堅調に推移し、内需主導の経済成長となった。財貨・サービスの輸出入では、輸出が5.3%増、輸入はそれを上回る6.4%増だった。財貨の輸出入の伸びはそれぞれ3.4%増、4.8%増であったが、サービスでは、輸出12.3%増、輸入11.0%増と財の伸びを大きく上回った。

表1 オランダの需要項目別実質GDP成長率

	2014年	2015年				2016年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q1
実質GDP成長率	1.0	2.0	2.5	1.9	2.0	1.6	1.4
民間最終消費支出 （NPISHを含む）	0.0	1.5	1.5	1.5	1.8	1.2	0.9
政府最終消費支出	0.3	0.3	0.5	0.0	0.6	0.3	0.8
国内総固定資本形成	3.5	10.3	9.1	12.5	10.2	9.6	6.9
財貨・サービスの輸出	4.0	5.3	5.4	4.9	4.4	6.4	6.4
財貨・サービスの輸入	4.0	6.4	4.7	6.4	5.8	8.6	8.8

〔注〕①四半期の伸び率は前年同期比。

②NPISH: Non-profit institutions serving households 対家計民間非営利団体

〔出所〕オランダ中央統計局（CBS）

### ■輸出、輸入とも石油価格下落の影響で減少

2015年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比1.8%減の4,255億7,200万ユーロ、輸入は1.2%減の3,779億9,300ユーロと輸出入ともに減少した。

輸出を品目別にみると、機械および輸送用機器（構成比28.0%）、化学製品（18.4%）がそれぞれ、3.4%増、2.9%増と伸びたものの、石油価格の下落により鉱物性燃料、潤滑油（13.4%）が22.3%減となったことが、輸出全体の減少につながった。機械および輸送用機器では、通信機器等（4.9%）が9.1%増、船舶などのその他の輸送機器（1.4%）が63.8%増、土木・建設機械や産業用機械などの特定産業用特殊機械類（3.8%）が4.6%増であった。一方、事務用機器・電算機（5.6%）は8.2%減少した。

国・地域別にみると、71.7%を占めるEU28向け、7.4%を占める米州向けがそれぞれ3.1%減、0.3%減となったものの、アジア大洋州（構成比8.0%）への輸出は、9.8%増と好調であった。EU28向け輸出では、英国3.3%増、スペイン2.8%増、ポーランド5.5%増となった。しかし、最大の輸出相手国であるドイツが5.6%減となったほか、ベルギーは6.9%減、フランスは3.5%減、イタリアは6.3%減とユーロ圏主要国向けは振るわなかった。ロシア向けは31.5%の大幅減となった。米州向けでは、カナダ向けが18.1%増、中南米向けなどが増加したものの、米国向けが4.4%減となった。米州全体では機械および輸送用機器は堅調に推移したが、鉱物性燃料、潤滑油が28.6%減と大幅に減少した。アジア大洋州向けでは、域

表2 オランダの品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年	2015年		伸び率	2014年	2015年		伸び率
	金額	金額	構成比		金額	金額	構成比	
機械および輸送用機器	115,213	119,124	28.0	3.4	109,340	115,632	30.6	5.8
化学製品	76,028	78,270	18.4	2.9	51,645	53,717	14.2	4.0
鉱物性燃料、潤滑油	73,302	56,957	13.4	△22.3	83,460	64,163	17.0	△23.1
食料品および生きた動物	55,974	56,398	13.3	0.8	35,821	37,177	9.8	3.8
雑製品	42,893	45,903	10.8	7.0	42,936	47,686	12.6	11.1
工業製品（原料別製品）	37,730	36,919	8.7	△2.1	37,197	36,932	9.8	△0.7
非食用原材料（鉱物性燃料除く）	20,079	19,762	4.6	△1.6	13,454	13,670	3.6	1.6
飲料およびたばこ	6,494	6,103	1.4	△6.0	3,674	4,077	1.1	11.0
動植物性油脂、脂肪、ろう	3,573	3,459	0.8	△3.2	4,155	3,981	1.1	△4.2
合計（その他を含む）	433,405	425,572	100.0	△1.8	382,416	377,993	100.0	△1.2

[注] EU域外貿易は通関ベース（輸出FOB、輸入CIF）、EU域内貿易は各企業インボイス報告などに基づく。

[出所] オランダ中央統計局（CBS）

表3 オランダの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年	2015年		伸び率	2014年	2015年		伸び率
	金額	金額	構成比		金額	金額	構成比	
EU28	314,726	304,938	71.7	△3.1	197,999	198,568	52.5	0.3
ユーロ圏	242,526	230,081	54.1	△5.1	148,413	151,452	40.1	2.0
ドイツ	104,471	98,607	23.2	△5.6	62,727	64,900	17.2	3.5
ベルギー	47,512	44,229	10.4	△6.9	37,020	36,919	9.8	△0.3
フランス	35,494	34,245	8.0	△3.5	17,292	16,247	4.3	△6.0
イタリア	18,727	17,553	4.1	△6.3	8,069	8,947	2.4	10.9
スペイン	11,989	12,320	2.9	2.8	6,822	6,788	1.8	△0.5
非ユーロ圏	72,199	74,857	17.6	3.7	49,587	47,117	12.5	△5.0
英国	36,751	37,980	8.9	3.3	25,414	20,908	5.5	△17.7
ポーランド	9,622	10,148	2.4	5.5	6,014	7,315	1.9	21.6
スイス	5,549	5,739	1.3	3.4	2,118	2,277	0.6	7.5
ロシア	6,289	4,308	1.0	△31.5	18,182	13,546	3.6	△25.5
アジア大洋州	31,110	34,160	8.0	9.8	73,580	77,195	20.4	4.9
中国	7,920	8,570	2.0	8.2	35,398	34,352	9.1	△3.0
韓国	3,749	4,223	1.0	12.7	3,181	2,676	0.7	△15.9
日本	3,320	3,491	0.8	5.1	8,321	8,306	2.2	△0.2
香港	2,206	2,260	0.5	2.5	2,115	3,918	1.0	85.3
インド	1,857	1,937	0.5	4.3	2,690	2,992	0.8	11.2
ASEAN	7,066	8,257	1.9	16.9	17,918	21,025	5.6	17.3
米州	31,404	31,321	7.4	△0.3	43,364	45,844	12.1	5.7
米国	18,980	18,144	4.3	△4.4	27,258	32,718	8.7	20.0
ブラジル	2,817	2,930	0.7	4.0	4,639	4,086	1.1	△11.9
アフリカ	14,249	14,152	3.3	△0.7	14,184	11,489	3.0	△19.0
サウジアラビア	2,516	2,739	0.6	8.9	3,363	1,359	0.4	△59.6
合計（その他含む）	433,405	425,572	100.0	△1.8	382,416	377,993	100.0	△1.2

[注] EU域外貿易は通関ベース（輸出FOB、輸入CIF）、EU域内貿易は各企業インボイス報告などに基づく。

[出所] オランダ中央統計局（CBS）

内最大の輸出相手国の中国は食料品、化学製品などの増加により8.2%増となった。韓国は機械および輸送用機器、雑製品などの増加で12.7%増、シンガポールは鉱物性燃料の増加により14.1%増、台湾も機械および輸送用機器などの増加により11.9%増となった。日本向け輸出も5.1%増加した。

輸入を品目別にみると、最大品目の機械および輸送用機器（構成比30.6%）が5.8%増となった。通信・音声記

録・再生機器が18.9%増、自動車部品やモーターサイクルおよび自転車などの増加により道路用車両が5.3%増、航空機などの増加により、その他の輸送用機器が50.8%増となった。化学製品（14.2%）は4.0%増となった。医薬品が11.2%増加したほか、無機化学品、香料用精油なども増加した。雑製品（12.6%）は11.1%増となった。そのなかでも、光学・医療用・計測および制御機器が14.1%増、衣類・同付属品が9.1%増、家具・同部品

が22.1%増となった。一方、鉱物性燃料、潤滑油（17.0%）は23.1%減となった。とりわけ石油価格下落により石油・石油製品が26.9%の大幅減となった。この石油・石油製品の減少が、輸入額全体に影響を与えた。

国・地域別では、全体の5割強を占めるEU28からは前年比0.3%の増加となった。最大の輸入相手国であるドイツ（構成比17.2%）が3.5%増。ポーランド、イタリアはそれぞれ21.6%増、10.9%増だったが、鉱物性燃料、潤滑油の輸入が大幅に減少したため英国は17.7%減、ノルウェーは18.9%減となった。ロシアも同様の理由で25.5%減となった。米州地域では、米国が20.0%増で、化学製品や機械および輸送用機器が増加した。アジア大洋州地域では、中国が3.0%減、タイが20.9%減となったものの、香港は85.3%増、シンガポールが40.3%増、インドが11.2%増と輸入が増加した。

## ■対内、対外直接投資ともにEU28は引き揚げ超過

オランダ国立銀行（DNB）によると、2015年の対内直接投資（ネット、フロー）は、590億1,800万ユーロであった。国別で見ると、フランスから365億2,000万ユーロ、キプロスから26億4,300万ユーロの投資があった。しかし、英国、ルクセンブルクはそれぞれ711億600万ユーロ、291億3,900万ユーロの引き揚げ超過となり、EU28全体では686億7,600万ユーロの引き揚げ超過に。EU28域外ではスイスが163億3,400万ユーロ、米国が276億3,900

表4 オランダの主要国・地域別対内・対外直接投資  
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2014年	2015年	2014年	2015年
	金額	金額	金額	金額
EU28	87,236	△68,676	99,133	△149,662
ユーロ圏	65,895	△367	25,221	△32,264
ベルギー	23,817	△1,683	△17,552	2,827
ドイツ	16,309	△418	△2,458	2,952
フランス	5,966	36,520	△7,582	△6,649
アイルランド	10,515	△1,383	24,917	7,690
イタリア	△2,189	△2,194	1,073	△8,615
ルクセンブルク	859	△29,139	17,097	△14,968
スペイン	△765	992	1,819	△21,284
非ユーロ圏	21,341	△68,309	73,912	△117,398
英国	19,191	△71,106	70,027	△108,907
スウェーデン	1,921	△1,917	1,426	△3,558
ノルウェー	663	1,215	1,421	△134
ロシア	5,986	△4,189	△4,698	△8,822
スイス	9,816	16,334	203	△6,951
米国	△45,160	27,639	△116,700	137,188
カナダ	△459	△7,985	5,486	△4,043
ブラジル	1,623	6,706	19,267	26,265
日本	△530	12,410	△1,178	7,648
香港	△132	3,567	△923	△2,791
中国	2,855	1,749	1,723	△912
合計（その他含む）	70,172	59,018	46,609	47,743

〔出所〕オランダ国立銀行（DNB）

万ユーロ、日本が124億1,000万ユーロとなっている。

対内直接投資では、大型案件が目立った。米国肥料メーカーCFインダストリーズは同業のOCIの欧州事業を統合。新会社に80億ドルの投資を行った。物流世界3位の米国フェデックスはオランダの同業大手のTNTエクスプレスを44億ユーロで買収した。TNTのネットワークを使って欧州での物流網を整備・拡大する。自動車・航空機部品製造の英国GKNはオランダのフォッカー・テクノロジーを買収した。

2015年の対外直接投資（ネット、フロー）は477億4,300万ユーロであった。国・地域別でみると最も多いの

は米国で1,371億8,800万ユーロ、次いでブラジルの262億6,500万ユーロ、アイルランドの76億9,000万ユーロとなっている。EU28は引き揚げが多く、英国が1,089億700万ユーロ、スペインが212億8,400万ユーロの引き揚げ超過、EU28全体では1,496億6,200万ユーロの引き揚げ超過となった。

対外直接投資でも大型案件が目立った。国際資源開発のロイヤル・ダッチ・シェルは英国の石油・天然ガス大手のBGグループを470億ポンドで買収した。原油価格の下落が世界的な業界再編の引き金になっているとみられる。食品小売り大手ロイヤル・アホルドとベルギーの同業デレーズ・グループが合併した。新会社は米国市場4位の売上高となり、経営の効率化を期待している。そのほか、大手通信事業者アルティスが米国のケーブルビジョン・システムズを177億ドルで買収。半導体メーカー、NXPセミコンダクターズは米国フリースケール・セミコンダクタを買収した。2社統合後は、自動車・商業用半導体の業界トップとなる。

### ■対日輸出は堅調に推移

2015年の対日輸出は前年比5.1%増の34億9,100万ユーロ、輸入は0.2%減の83億600万ユーロであった。輸出を品目別にみると、37%を占める機械類・輸送用機器が22.3%増と大幅に拡大した。特定産業用特殊機械類が50.5%増、原動機が19.9%増、産業用機械・部品が13.0%増となった。2014年に20.8%増加した道路走行車両は、自動車部品などが減少したことにより19.1%減となった。化学製品（構成比22.1%）は、医療用品（医薬品を含む）が4.0%増であったものの、有機化学品が21.0%減になったことなどにより、0.2%減となった。雑製品（17.1%）は、光学機器・医療用機器・計測機器等の輸出の伸びなどから20.8%増、食料品および動物（13.1%）は

表5 オランダの主要対内直接投資事例（2015年）

<M&A>

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
化学	OCI	CFインダストリーズ・ホールディングス	米国		6月	80億ドル	肥料メーカーCFインダストリーズと同業OCIとの72.3：27.7の合併。
物流	TNTエクスプレス	フェデックス	米国		7月	44億ユーロ	物流大手フェデックスによる買収。2016年5月に買収成立。
人材派遣	USGピープル	リクルートホールディングス	日本		12月	14億2,000万ユーロ	リクルートによるオランダの同業社の買収。2016年6月買収成立。
航空機	フォッカー・テクノロジー	GKN Plc	英国		7月	7億600万ユーロ	英国航空機部品メーカーによる買収。2015年12月買収完了。
資源・エネルギー関連サービス	ストーク・ホールディングス	フルアー	米国		12月	6億9,500万ユーロ	米天然ガス関連サービス会社による買収。
メディア	タルパ・メディア	ITVネットワーク	英国		3月	5億ユーロ	ITVによる「ザ・ボイス」等の番組制作会社の買収。
種苗	デュメンオレンジ	BCパートナーズ	英国		10月	5億ユーロ	英国のプライベード・エクイティが花卉育種・開発企業デュメンオレンジを買収。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 オランダの主要対外直接投資事例（2015年）

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
ロイヤル・アホルド	小売り（スーパー）	デレーズ・グループ	ベルギー	6月	250億ユーロ	オランダ、ベルギーの小売り（スーパーマーケット）企業の合併。合併比率はアホルド61%、デレーズ39%。
ロイヤル・ダッチ・シェル	資源開発	BGグループ	英国	4月	470億ポンド	天然ガス開発会社BGグループの買収。
ハイネケン	ビール醸造	ピヴォヴァルナ・ラシュコ	スロベニア	4月	1億1,430万ユーロ	欧州のビール事業の強化のためスロベニアの老舗醸造メーカーを買収。
ユニリーバ	食品	グロム	イタリア	10月	非公開	アイスクリームチェーンのグロムを買収。
NXPセミコンダクターズ	電子部品	フリースケール・セミコンダクタ	米国	3月	118億ドル	NXPによる現金、株式交換による買収。2015年12月買収成立。
アルティス	ケーブルTV	ケーブルビジョン・システムズ	米国	9月	177億ドル	欧州大手通信事業者アルティス（ルクセンブルクから移転）による米ケーブルTV会社の買収。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表7 オランダの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）				
	2014年 金額	2015年 金額	2015年 構成比	2015年 伸び率	2014年 金額	2015年 金額	2015年 構成比	2015年 伸び率	
食料品および動物	434	456	13.1	5.1	飲料およびたばこ	2	11	0.1	468.2
食肉・食肉調製品	95	93	2.7	△1.7	アルコール飲料	1	11	0.1	621.2
酪農品および鳥卵	88	118	3.4	34.1	化学製品（SITC 5）	805	681	8.2	△15.3
野菜・果実	52	61	1.8	18.4	有機化学品	263	254	3.1	△3.2
飲料およびたばこ	237	56	1.6	△76.2	工業製品（原料別製品）	469	399	4.8	△14.9
非食品原材料（鉱物性燃料は除く）	106	102	2.9	△3.7	機械類・輸送用機器	5,649	5,851	70.4	3.6
化学製品	773	771	22.1	△0.2	原動機	186	164	2.0	△11.9
有機化学品	110	87	2.5	△21.0	特定産業用特殊機械類	843	869	10.5	3.0
医療用品（医薬品を含む）	493	513	14.7	4.0	土木用・建設用機械・機器	633	631	7.6	△0.3
工業製品（原料別製品）	197	160	4.6	△18.7	事務用機器・電算機	1,512	2,095	25.2	38.5
機械類・輸送用機器	1,057	1,293	37.0	22.3	事務用機器	1,257	1,892	22.8	50.6
特定産業用特殊機械類	412	619	17.7	50.5	通信・音声記録・再生機器	997	899	10.8	△9.9
電気機械・機器その他	210	216	6.2	2.9	電気機械・機器その他	776	798	9.6	2.9
医療・手術・歯科等電気診断機器	173	165	4.7	△4.9	道路走行車両	603	414	5.0	△31.3
道路走行車両	145	117	3.4	△19.1	乗用自動車	230	40	0.5	△82.5
自動車部品・付属品	99	59	1.7	△40.8	モーターサイクル・自転車	269	276	3.3	2.7
雑製品	494	597	17.1	20.8	雑製品	1,285	1,244	15.0	△3.2
光学機器・医療用機器・計測機器および制御機器	338	373	10.7	10.2	光学機器・医療用機器・計測機器および制御機器	471	514	6.2	9.1
医療用機器その他	268	282	8.1	5.1	写真用機器、その他の光学用品および時計	449	436	5.2	△3.0
合計（その他含む）	3,320	3,491	100.0	5.1	合計（その他含む）	8,321	8,306	100.0	△0.2

〔出所〕 オランダ中央統計局（CBS）

5.1%増加。チーズが倍増した酪農品および鳥卵が34.1%増、野菜・果実の18.4%増などが寄与した。

対日輸入の70.4%を占める機械類・輸送用機器は3.6%増であった。事務用機器・電算機が38.5%増、電気機械・機器その他が2.9%増となったものの、乗用自動車が82.5%の大幅減となり、道路走行車両も31.3%減、通信機器などは9.9%減となった。雑製品では、光学機器・医療用機器・計測機器などが9.1%増となった。金額こそわずかなものの、アルコール飲料が7.2倍の1,073万ユーロとなり、飲料およびたばこが5.7倍となった。

## ■日本の対内・対外直接投資はともに増加

2015年の日本からの対内直接投資額（フロー、ネット）

は、124億1,000万ユーロであった。クリヤマホールディングスや日精エー・エス・ビー機械による欧州地域統括・持ち株会社の設立や、大和化成工業、竹本容器、キュービー、鐘通などの営業拠点設立などが目立った。買収事例では、大森機械工業による食品加工および包装機械の製造販売企業の買収、トリドールによるファストフード企業の買収などがあった。またリクルートホールディングスによるオランダ人材派遣会社USGピープルの買収なども発表された。対日直接投資額（フロー、ネット）は76億4,800万ユーロであった。オランダINGバンクは独立発電事業者のソネディックスの日本の投資事業運営会社である日本ソーラーサービスズと大分県における太陽光発電所のプロジェクトファイナンス契約を締結した。